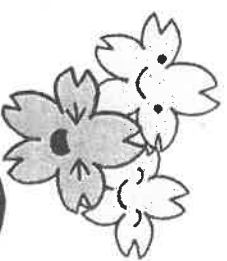


ほけんだよ!

伊丹市立西中学校

ほけんしつ

令和3年4月



内科健診、なんで上半身裸にならなあかんの？

かかりつけの病院は脱がなくてもみてくれるよ!



「子どもが嫌がってるのになぜ上半身裸にしないといけないのか?」「せめてシャツを着たままでいいのか?」...などという意見をよく聞きます。男女別で健診を行っているとはいえ、お子さんにとって上半身裸で健診を受けることに気が進まないのは確かだと思います。ではなぜわざわざ上半身裸で健診を行わないといけないのでしょうか。

それは「脊柱側弯症」という病気を見つけるためです。

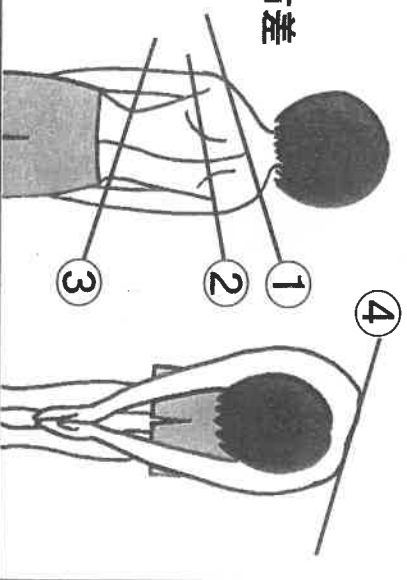
「**脊柱側弯症**」とは背骨が左右に曲がる病気で、思春期の特に女子に発症する「**思春期特発性側弯症**」が最も多く、女子全体の2%が該当すると言われおり、決して少ない病気ではないのです。また**思春期に病気が進行しやすい**こともわかっており、**早期発見**が大切です。

そのため平成28年から学校の内科健診で側弯症のチェックも義務化され、保護者と医師の2つの目を通し見落としを防ぐようにしています。



★脊柱側弯症のチェック方法★

- ①肩の高さの左右差
- ②肩甲骨の高さや突き出し方の左右差
- ③脇の線のカーブの左右差
- ④前屈での肋骨隆起の確認
(背中の高さの左右差)



これら4項目を見落とさずにチェック

するためには、**体操服を着たままや**

スポーツブラなど肩甲骨が隠れるような

下着着用の上までは非常に難しいのです。

